

植生学会誌の編集方針

植生学会編集委員会（2024年10月1日制定）

1. 刊行の目的

植生学会誌は、会員に研究成果公表の場を提供し、その成果を会員に広く共有することで植生学の発展を図ることを目的として刊行します。

2. 掲載する原稿

植生学会誌では、信頼性の高い調査・実験・解析結果に基づいて執筆され、植生学に関する有意義な新知見を提示する原稿を掲載します。「有意義な新知見」とは、データおよび結果そのものに価値を見いだせるものを含み、以下のような原稿も積極に取りあげます。

- ・植物群落の種組成や構造、遷移、分布に関する記載的な研究
- ・植物群落の成因としての生物的・非生物的環境に関する研究
- ・過去に報告例がない地域での現地調査に基づく研究
- ・既発表の調査資料を統合・体系化した研究
- ・植生の保全や復元に関する具体事例に基づく研究
- ・植生に関する調査・解析手法に関する研究

3. 審査

編集委員会が原稿の掲載可否を判断するにあたり、専門的知見を有する者の意見を参考にするとともに、著者に対して原稿の質を向上させる機会を与えることを目的として、2名の査読者による査読を行います。査読者は原則として植生学会会員から選任しますが、原稿の内容に応じて、1名は会員以外から選任することもあります。